

平成 28 年度 教育活動その他の学校運営

読売理工学院
読売理工医療福祉専門学校

1. 学院の運営方針

現政権の経済政策や平成 32 年の東京オリンピック開催等により、景気の先行きに明るい見通しが出てきたとはいえ、少子化の進行もあって学院を取り巻く環境が好転していると実感できる状況には至っていない。

経済環境に左右されずに経営の安定を図っていくには、資格取得を中心に、確かな技術と知識を持ち、即戦力となる人材を社会に送り出す養成機関としての位置づけを再確認し、教職員の質の向上を通じた教育レベルの向上を図ることを地道に続けることが重要である。

それらの実現のために、例年 3 か年計画を作成し、経営の点検、業務の見直しを行っている。また、迅速な課題処理、意思決定を行うため、随時常勤理事会を開催している。

平成 27 年度は、各学科のカリキュラムで「人間力」「専門力」「就職力」「資格取得力」「基礎学力」の五つを柱とする「読売式教育メソッド」のブラッシュアップを図り教育の充実を進めた。中長期的な視点からは、平成 31 年度スタートにする新たな学校種「専門職大学（仮称）」の動向を見据えながら新時代に対応する学院の将来像について、理事長直属の「読売理工学院将来構想委員会」において検討を進めている。

的確な学院運営を図るために、経営幹部が学学生在籍状況を把握することも必要であり、各学科教員代表で組織する学科連絡会に積極的に同席し、教育現場で抱える問題点とその対応などについて把握している。

2. 学校の概要

① 建学の精神	<p>読売理工学院は、新しい時代、新しい社会、新しい世紀を築く科学技術の進歩と発展に合わせて知識を学ぶ高等教育機関であり、優れた技能、技術者の養成を建学の精神とする。</p> <p>自由で、創造性豊かな全ての青年たちに、民族や宗教、国境を越えて門戸を開き、未来の地球を支える科学技術力を、実学、実習、実践を通じて身に付けさせる。</p> <p>働きながら学ぶ青年たちにも教育の機会をより多く設け、社会人のための生涯学習の場としての役割も担う。</p> <p>教育の自由を確立するため、何人にもよらず、自主自立で学院の経営をすすめる、文化と伝統を守る。良心なき教育は人間の魂を滅ぼすことを忘れてはならない。</p>
② 本校の特色	<p>本校は新聞配達業務を行いながら学ぶ『読売育英奨学生』を受け入れることを、創立以来変わらぬ理念としている。また、読売グループの一員として、日本テレビの関連制作会社やグループ内の介護施設などと、就職やインターンシップで幅広く連携している。</p>
③ 校長	渡邊 敏章
④ 所在地	東京都港区芝 5-26-16
⑤ 沿革	<p>1969. 11. 20 学校法人読売理工学院設立発起人会で学院設立を決議。以来、この日を創立記念日とする。</p> <p>1970. 1. 31 学校法人読売理工学院の設置認可。理事長に小野昇氏が就任。 東京理工専門学校（三田校）の設置認可。初代校長に三輪光雄氏が就任。</p> <p>3. 23 「校章」の制定。図案制作は神谷幸衛氏。</p> <p>4. 1 三田校開校（5月9日に開校式）。</p> <p>1976. 4. 8 東京理工専門学校校友会（現・読売理工専校友会）が発足。初代会長に佐々木正光氏。</p>

4. 10 「校歌」を制定。作詩・小野昇氏 作曲・團伊玖磨氏。
6. 1 三田校が学校教育法による専修学校の専門課程（工業系）として認可を受ける。
1978. 6. 11 理工専奨学生後援会が発足。初代会長に浜田吉治氏。
1979. 2. 5 第2代校長に崎川範行氏が就任。
4. 1 「建学の本旨」を制定。
4. 20 建学の本旨に基づく「教育方針」を制定。
1980. 6. 30 学院理事長（第2代）に竹内繁氏が就任。
1982. 4. 1 三田校から自動車学科が分離独立して、東京江東理工専門学校（江東校）開校。校長は崎川範行氏が兼任。
1983. 4. 1 校名を「読売」の名を冠した「読売東京理工専門学校」と改称。
1984. 9. 18 文部省の依頼で85年度から初の「国費留学生」受け入れを決定。
1987. 4. 1 校長（第3代）に松浦悦之氏が就任。崎川氏は名誉校長に。
1988. 11. 21 文部省から専修学校職業教育高度化開発委託事業特定研究校の指定を受ける。
1990. 4. 1 ノーベル物理学賞・文化勲章受章者の江崎玲於奈氏が学院特別顧問に就任（～1992. 2）
1992. 7. 3 学院理事長（第3代）に杉林昇氏が就任。
1994. 7. 3 学院理事長（第4代）に原孝文氏が就任。校長（第4代）を兼務。
1995. 1. 23 文部省告示により、卒業生に「専門士」の称号を付与できる学校として認定される。
2. 21 本学院が東京都から「特定公益増進法人」の認定を受ける。
9. 1 正力厚生会「読売理学院奨学生」制度を制定。
1998. 6. 15 学院理事長（第5代）に浅野秀満氏が就任。
三田校校長（第5代）に本間三郎氏が就任（江東校校長と兼任）
2000. 6. 5 学院理事長（第6代）に松井隆義氏が就任。
2001. 1. 30 医療専門課程の新設認可を受ける（4月に開設）。
5. 1 学校創設者「小林與三次記念育英奨学金」制度を制定。
2002. 6. 15 学院理事長（第7代）に石川弘修氏が就任。
12. 10 日本テレビの番組制作関連企業とインターンシップ制度（就学実習）で提携。
2003. 10. 5 読売新聞東京本社の「NIE 教養講座」(Newspaper in Education) を開始。
2006. 1. 28 社会福祉専門課程の新設認可を受ける。
4. 1 校名を「読売理工医療福祉専門学校」に改称。
2007. 1. 1 校長（第6代）に学院理事長の石川弘修氏が就任。
2. 5 読売理学院はオーストラリア東部クイーンズランド州政府が運営する技術教育専門学校のゴールドコースト校と姉妹校提携を結んだ。
2008. 6. 11 学院理事長（第8代）兼校長（第7代）に上村武志氏が就任。
2009. 4. 1 校長（第8代）に豊田正敏氏が就任
4. 19 読売理学院創立40周年記念トークショーを読売新聞東京本社で開催
10. 1 元文部科学相の遠山敦子氏（現、公益財団法人トヨタ財団理事長）が理事就任。
2011. 4. 1 臨床心理士にスクールカウンセラーを委嘱。
6. 8 学院理事長（第9代）に原野喜一郎氏が就任。
2014. 3. 31 文部科学大臣より、次の学科が「職業実践専門課程」に認定。
放送映像学科、建築学科、建築科、電気電子学科、臨床工学科、臨床工学専攻科、介護福祉学科。
5. 16 学院理事長（第10代）に国松徹氏が就任。
12. 25 臨床工学専攻科が厚生労働省から「専門実践教育訓練講座」に指定される。
2015. 4. 1 校長（第9代）に千葉康文氏が就任。
6. 10 学院理事長（第11代）兼校長（第9代）に千葉康文氏が就任。
2016. 4. 1 校長（第10代）に渡邊敏章氏が就任。

3. 各学科の教育

①入学者数、収容定員、在学学生数

学 科	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数
放送映像学科	昼間	2年	60名	120名	53名	99名
TVディレクター	昼間	2年	20名	40名	24名	36名
クロスメディア情報学科	昼間	2年	30名	60名	29名	47名
電気電子学科	昼間	2年	40名	80名	39名	70名
建築学科	昼間	2年	40名	80名	48名	83名
建築科	夜間	2年	40名	80名	38名	63名
建築士専攻科	夜間	1年	10名	10名	0名	0名
臨床工学科	昼間	3年	40名	120名	39名	114名
臨床工学専攻科	夜間	2年	40名	80名	22名	41名
介護福祉学科	昼間	2年	70名	140名	31名	49名
ケアキャリア養成科	昼間	1年	30名	30名	6名	7名

②公共職業訓練の実施

公共職業訓練として、次の事業を不定期に実施している。

- ・東京都民間委託訓練〈離職者等再就職訓練〉

「介護職員初任者研修・医療コミュニケーション・介護事務科」 定員：30名

③資格取得

各学科の、養成・認定資格と在学中に受験指導する資格は次の通り。

【放送映像学科】

受験指導

- ・映像音響処理技術者資格認定試験

【電気電子学科】

養成資格

- ・第2種電気工事士

認定資格

- ・電気主任技術者2種（実務経験5年）、電気主任技術者3種（実務経験2年）

電気通信設備工事担任者：基礎科目

受験指導

- ・第1種電気工事士、第3種電気主任技術者、甲種第4類消防設備士、乙種第4類消防設備士

【建築学科】

受験指導

- ・2級施工管理技術検定試験：学科試験、福祉住環境コーディネーター2級・3級

甲種第1類消防設備士、甲種第4類消防設備士

受験推奨

- ・VEリーダー、商業施設士補、インテリアプランナー

【建築科】

受験指導

- ・2級施工管理技術検定試験：学科試験

受験推奨

・VEリーダー、商業施設士補、インテリアプランナー

【臨床工学科・臨床工学専攻科】

養成施設：受験指導

・臨床工学技士

受験指導

・第2種ME実力検定

受験推奨

・第1種ME実力検定

【介護福祉学科】

養成資格

・介護福祉士

受験指導

・福祉住環境コーディネーター2級・3級

講習会

・上級救急講習

⑤卒業生数と就職率：平成27年度

学 科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率	進学	その他
放送映像学科	46名	43名	43名	100%	0名	3名
Web情報学科	11名	8名	5名	62.5%	2名	4名
電気電子学科	26名	24名	23名	95.8%	1名	2名
建築学科	7名	7名	7名	100%	0名	0名
建築科：夜間	15名	7名	7名	100%	0名	8名
建築士専攻科	2名	2名	1名	50%	0名	1名
臨床工学科	35名	30名	28名	93.3%	0名	7名
臨床工学専攻科：夜間	16名	14名	11名	78.6%	0名	5名
介護福祉学科	18名	18名	18名	100%	0名	0名
ケアキャリア養成科	8名	5名	5名	100%	0名	0名

※その他は、希望なし、留学生の帰国、自営等。建築学科・建築科の主な進学先は、本校建築士専攻科。

4. 教職員

①教職員数

教職員数は、専任教員31名、専任職員21名で合計52名。内訳は次の通り。

【専任教員】

Web情報学科4名、放送映像学科5名、建築系学科5名、電気電子学科3名

TVディレクター学科2名、臨床工学系学科8名、介護福祉学科5名、ケアキャリア養成科2名

【役員・専任職員】

理事長1名、法人本部長兼常務理事1名、事務局長1名、事務局次長1名、職員16名

5. キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育・職業教育の取組状況は次の通り。

①キャリア教育

科目名：社会人基礎力講座 単位数：2単位 開講時期：1年後期 履修条件：必修

対象学科：Web 情報学科・放送映像学科・建築学科・電気電子学科

授業概要：就職活動をするにあたり、社会人として必要な基礎的な知識や、応募書類の書き方や面接の心構えなどを指導する。

②就職支援

- ・学校全体の支援
コミュニケーション力養成講座、保護者向けセミナー、就職説明会、スーツ着方講座、メイクアップ講座、模擬面接
- ・学科毎の支援
就職希望調査、就職ガイダンス、個人面談、就職模擬試験、個人指導

③インターンシップ

【放送映像学科】

科目名：インターンシップ 単位数 4 単位 開講時期：1 年後期 履修条件：選択

実習企業：日本テレビ関連会社および番組制作協力会社

実習内容：撮影、編集、音声、照明等

【臨床工学科、臨床工学専攻科】

科目名：臨床実習 単位数 4 単位 180 時限 開講時期：卒業年次後期 履修条件：必修

実習企業：病院

実習内容：血液浄化装置実習、集中治療室実習、手術室実習、医療機器管理業務実習

【介護福祉学科】

科目名：介護実習 単位数 14 単位 630 時限 開講時期：1・2 年通年 履修条件：必修

実習企業：介護福祉施設

実習内容：居宅サービス実習、認知症グループホーム実習、障害者施設実習、高齢者施設実習、施設実習

6. 様々な教育活動・教育環境

①学校行事：平成 27 年度

- ・校外オリエンテーション：4～5 月（学科毎に実施）
- ・ナイター招待：5 月 14 日（東京ドーム）
- ・スポーツ大会：6 月 23 日（BumB 東京スポーツ文化館）
- ・奨学生激励会：7 月 20 日（AP 浜松町）
- ・学園祭：10 月 31 日・11 月 1 日

②クラブ活動

【運動系】

- ・硬式テニス部、野球部、読売理工フットサル部

【文化系】

- ・SD 研究会、建築研究会、軽音部、映像研究会、Yomiuri Yosakoi Club、ベリーダンス部

7. 学生の生活支援

①学生支援

【学生相談室】

臨床心理士による学生カウンセリングを実施。

【留学生相談室】

勉強や日常生活に関する問題に、相談スタッフが対応。

8. 学生納付金・就学支援

①学生納付金

・分納制度は、全学科で実施。

放送映像学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	280,000円	280,000円	280,000円	280,000円
施設・維持費	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
実習費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
合計	700,000円	530,000円	530,000円	530,000円

TVディレクター 学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	280,000円	280,000円	280,000円	280,000円
施設・維持費	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
実習費	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円
合計	670,000円	500,000円	500,000円	500,000円

カスタマイズ情報学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	255,000円	255,000円	255,000円	255,000円
施設・維持費	145,000円	145,000円	145,000円	145,000円
実習費	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円
合計	660,000円	490,000円	490,000円	490,000円

電気電子学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	245,000円	245,000円	245,000円	245,000円
施設・維持費	145,000円	145,000円	145,000円	145,000円
実習費	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円
合計	650,000円	480,000円	480,000円	480,000円

建築学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	170,000円			
授業料	255,000円	255,000円	255,000円	255,000円
施設・維持費	145,000円	145,000円	145,000円	145,000円
実習費	90,000円	90,000円	90,000円	90,000円
合計	660,000円	490,000円	490,000円	490,000円

建築科（夜間）	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	80,000円			
授業料	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
施設・維持費	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
実習費	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
合計	275,000円	195,000円	195,000円	195,000円

建築士専攻科	1年次	
	本校卒業生以外	本校卒業生
入学金	150,000円	
授業料	340,000円	340,000円
施設・維持費	120,000円	120,000円
実習費	120,000円	120,000円
合計	730,000円	580,000円

臨床工学科	1年次		2年次以降	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	200,000円			
授業料	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
施設・維持費	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
実習費	175,000円	175,000円	175,000円	175,000円
合計	825,000円	625,000円	625,000円	625,000円

臨床工学専攻科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	120,000円			
授業料	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
施設・維持費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
実習費	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
合計	545,000円	425,000円	425,000円	425,000円

介護福祉学科	1年次		2年次	
	前期：入学時	後期	前期	後期
入学金	150,000円			
授業料	295,000円	295,000円	295,000円	295,000円
施設・維持費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
実習費	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
合計	625,000円	475,000円	475,000円	475,000円

ケアキャリア 養成科	1年次	
	前期：入学時	後期
入学金	100,000 円	
授業料	210,000 円	210,000 円
施設・維持費	100,000 円	100,000 円
実習費	80,000 円	80,000 円
合計	490,000 円	390,000 円

②奨学金制度

本校では、次の奨学金制度により学生支援を実施している。

【読売育英奨学金制度】

配達業務等に就きながら学業との両立を支援する制度で、奨学金と給与・賞与が支給される。

【学費支援制度】

経済的に困窮している入学希望者を対象として、入学時学納金の一部を支援する制度。

【小林與三次記念育英奨学金制度】

経済的に困窮している成績優秀な在校生を対象として、修学資金の一部を支給する制度。

【読売理工専校校友会特待生制度】

学業・人物・生活態度が良好な在校生に対し、学費の一部を助成する制度。

9. 学校の財務

- ・平成 27 年度の貸借対照表、収支計算書を HP で公表。

10. 学校評価

- ①平成 27 年度自己評価報告書を HP で公表。
- ②平成 27 年度学校関係者評価報告書を HP で公表。

11. 国際連携の状況

①姉妹校提携

平成 19 年 2 月、オーストラリアのクイーンズランド州立専門学校（TAFE）である、ゴールドコースト・インスティテュート・オブ・テイフと姉妹校提携している。

②海外研修

研修内容：滞在中はホームステイし、英会話研修と専攻分野の視察や実習を行う。

日 程：毎年 3 月上旬の 10 日間程度。

以 上